

高校生向け産業探訪シリーズ“化学の力”

@昭和学院秀英中学校・高等学校(千葉市幕張)

化学は、高校の理科で学ぶ身近な存在ですが、今回のテーマは、勉強としての化学が実際にどのように我々の生活や社会に貢献しているのかを共有するプログラムです。化学の応用領域はとても広く、環境問題やエネルギー問題への対応、新しい材料の開発、医療の発展など幅広い分野で化学の力が生かされています。今回はその中でも、一般情報では目にすることが少ない(けど、とても重要な)化学の力の一端を高校生の皆さんに紹介したいと思います。
※学校関係者の皆様へ:生徒さんへの周知をよろしくお願いいたします。学校のカリキュラムとして、学校行事として、あるいはクラブ活動の一環として取り上げていただき、生徒さんが集団でご視聴いただくことを願っております。

13:30-14:10

- 開会挨拶 PLIJ代表者
- 司 会 開催校生徒

<第一部> 基調講演

- 「大学で化学を学ぶとは」
西野 孝／神戸大学名誉教授/客員教授・高分子学会会長(30分)

14:10-14:55

<第二部> 化学の力の多様な展開

- 「半導体は化学の力で作る」
喜多悠二／住友化学(15分)
- 「食を豊かにする化学の力」
松浦 傳史／三菱ケミカル(15分)
- 「デジタル技術が解き明かす化学の力」
樹神 弘也／三菱ケミカル(15分)

14:55-15:30

<第三部> パネルディスカッション

- ファシリテーター 葛城 俊哉／三菱ケミカル取締役・常務執行役員・CTO
福田 加奈子／住友化学常務執行役員
- パネルディスカッション 開催校及び集団視聴校参加高校生vs全登壇者との質疑
- クロージング 開催校教員代表



2025
12/18 木
13:30~15:30

お申し込み方法

QRコード、または以下リンクから、お申込みください。
参加費無料です。
https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_Oxieo90bSt2R_VZz8IkF-Q



※録画(スクリーンショットを含む)・録音や二次利用は固くお断りいたします。

問合せ先:一般社団法人学びのイノベーション・プラットフォーム
事務局:info@plij.or.jp

今回のセミナーの会場参加者は昭和学院秀英中学校・高等学校の生徒さんになります。他校の生徒さん教員はZoomウェビナーで視聴ください。

主催 一般社団法人学びのイノベーション・プラットフォーム(PLIJ)

協力 昭和学院秀英中学校・高等学校

プロフィール

神戸大学 西野 孝 現職:神戸大学名誉教授/客員教授,九州大学, 広島大学客員教授 高分子学会会長, 元日本接着学会会長 1984年 神戸大学工学研究科修士課程修了 1985年 神戸大学自然科学研究科博士課程中退 1985年 神戸大学工学部助手 1991年 工学博士 1996年 神戸大学工学部助教授 2004年 神戸大学工学部教授 2025年より現職	三菱ケミカル 葛城 俊哉 現職:取締役・常務執行役員 CTO(Chief Technology Officer) 1987年 農学研究科修士課程修了、 同年 三菱化成工業入社 2001年 農学博士取得 2010年 三菱化学フーズ 取締役 戦略企画室長 2017年 三菱ケミカル 理事役 高機能化学企画部長 2019年 三菱ケミカル 執行役員 経営企画部長 2024年 三菱ケミカルグループ 執行役 シニアバイスプレジデント CTO 2025年より現職	住友化学 福田加奈子 現職:常務執行役員(サステナビリティ推進部担当 サステナビリティ推進部長) 1988年 理学部化学科卒業、 同年 住友化学工業(現住友化学)入社 (研究所) 2003年 化成品事業部 主席部員 2013年 CSR推進室長 2020年 住友化学執行役員 住友化学ヨーロッパ 副社長 2021年 住友化学 執行役員 住友化学ヨーロッパ 社長 2024年より現職
住友化学 喜多悠二 現職:ICT&モビリティソリューション研究所 知的財産グループ(兼)コアマテリアル合成グループ所属 2016年 工学研究科修士課程修了 2019年 工学研究科博士課程修了 同年 住友化学入社 情報電子化学品研究所 フォトレジストグループ配属 2023年 情報電子化学品研究所 コアマテリアル合成グループ 2024年より現職	三菱ケミカル 松浦 傳史 現職:アドバンスソリューションズビジネスグループ 技術戦略本部 ウェルネス技術部 フード&ヘルスケアGr長 1999年 農学研究科修士課程修了 2007年 三菱化学フーズ入社 2016年 三菱化学フーズ 研究開発センター グループマネジャー 2024年 三菱ケミカル スペシャルティマテリアルズビジネスグループ アドバンスソリューションズ統括本部 技術戦略本部 ウェルネス技術部 フード&ヘルスケアGr長 2025年より現職	三菱ケミカル 樹神 弘也 現職:イノベーション所管 Science & Innovation Center 分析物性研究所 所長、Materials Design Lab.所長 1994年 工学研究科博士課程修了 1997年 三菱化学入社 2011年 三菱化学科学技術研究センター 基盤技術研究所 グループリーダー 2017年 三菱ケミカル 横浜研究所 材料設計研究室長 2019年 三菱ケミカル Science & Innovation Center Materials Design Lab.所長 2024年より現職

住友化学株式会社 住友化学株式会社は、1913年、別子銅山で銅の製錬の際に生じる排ガスの煙害を解決するため、その原因である亜硫酸ガスから肥料を製造することを目的に設立されました。 現在、農業関連、ICT関連、先端医療関連、環境負荷低減技術など幅広い分野にわたり、産業や人々の暮らしを支えるソリューションをグローバルに提供しています。 住友化学は今後も、資源、エネルギー、食糧、環境など国際社会が抱える課題を解決すべく、これまで培った技術を生かして貢献する「Innovative Solution Provider」を目指してまいります。	三菱ケミカル株式会社 三菱ケミカル株式会社は、環境・社会・人の「心地よさ＝KAITEKI」の実現を目指す、日本を代表する総合化学メーカーです。 環境配慮型モビリティ、半導体や通信、食の品質保持、医療分野で使用される高機能素材などの重点事業領域を展開し、革新的かつ多様なケミカルソリューションで社会課題の解決に貢献しています。また、様々なパートナーとも連携しながら、サーキュラーエコノミーやカーボンニュートラルにも積極的に取り組んでいます。 2035年に向けて発表した「KAITEKI Vision 35」に基づき、社会課題解決に貢献するグリーンスペシャルティ企業を目指しています。
--	--

昭和学院秀英中学校・高等学校 昭和学院秀英中学校・高等学校は千葉市の幕張新都心にある中高一貫校で、生徒数は中学生が520名、高校生が815名の男女共学の学校です。教育目標として、「自律した自己であること」「次世代に必要な能力をもつこと」「多様性を尊重すること」、この3つを備えた人間の育成を掲げ、教育実践を行っています。 数学的素養や理系の基礎知識は文系や理系の枠を超えた教養として身につけさせるカリキュラムを設定するとともに、高校2年生では理科と数学で理数探究授業を展開しています。また「秀英アカデミア」において、探究的な学びの面白さを知り、自ら学びに向かう経験を重視しています。「未来を創る」生徒を応援します。
